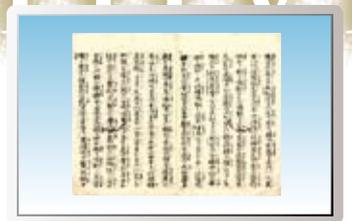


知の継承のために。

「道成寺鐘今在妙満寺和解略縁起」※実際にアーカイブ用にスキャニングされたものです。

# DIGITAL ARCHIVES

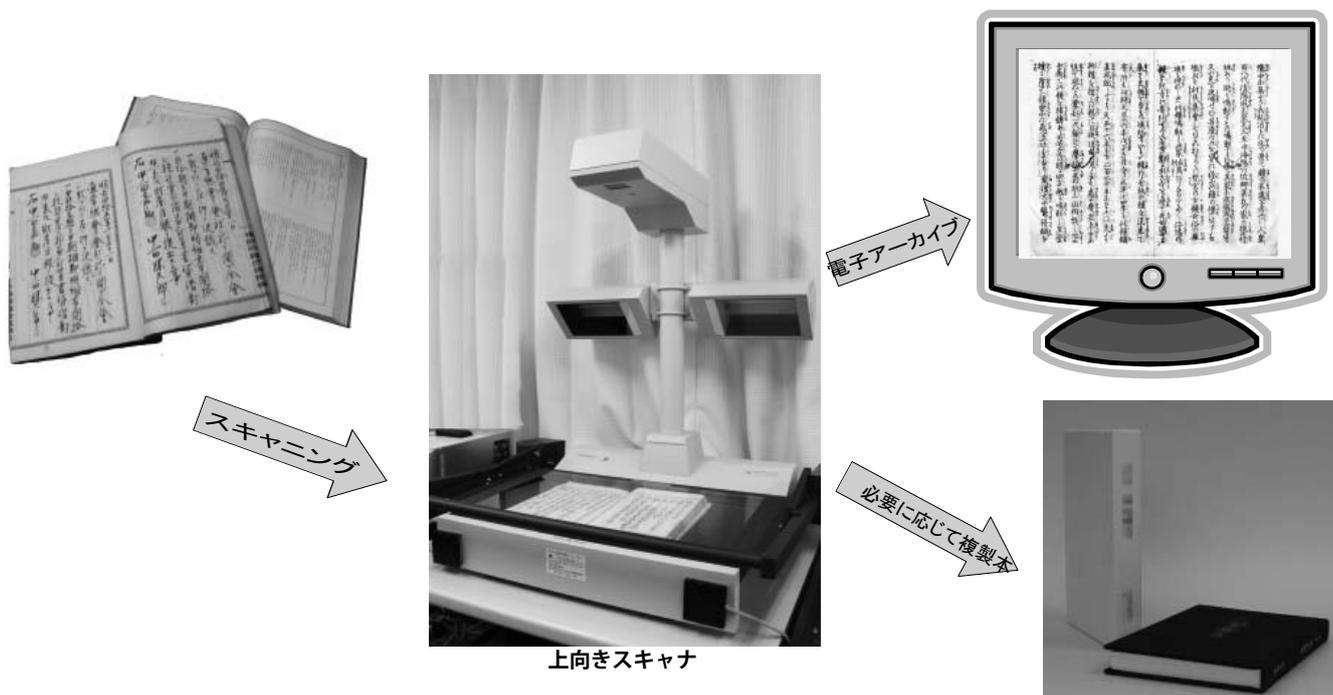
## 貴重本 アーカイブ



- ◇ 文献情報をデータ化、多様な閲覧形態・永久保存\*を実現
- ◇ 上向きスキャナ(写真左)で貴重本原本を痛めることなくデータ化致します
- ◇ 作成されたアーカイブから複製本の作成も可能

\*データマイグレーション(データからデータへの変換)が必要です。

# 中西印刷の貴重本電子アーカイブ



## 電子化でいつでもコンピュータで表示

すべての文献情報が、電子化されつつあります。電子化しコンピュータサーバーに置くことで、図書館に通うことなく文献をいつでもコンピュータ上で参照できます。

電子的に複製を作るわけですから、貴重な原本を傷めることなく、自由に利用することができるようになります。

## 上向きスキャナで貴重本も痛めず電子化

21世紀以後の本は製造工程そのものが電子化されているいわゆるポーンデジタルですので、紙の印刷物を作ると同時に電子版も作成できます。しかし、20世紀やそれ以前の本は、版面をスキャニングする必要があります。現在大量のスキャニングが実行されていますが、スキャニングをするためには本を分解したり、伏せてコピーをとる必要がありました。これでは貴重な原本を破損することになってしまい、この技法は貴重本には適用できませんでした。

中西印刷では写真のような本を開けて自然な状態のまま上から撮影できる上向きスキャニング技術を導入。貴重本も痛めることなく電子アーカイブ化することが可能となりました。

## 一度電子化すれば、何度でも紙の本の複製が可能

一度電子化すれば、あとはプリントアウトするだけで、複製本ができあがります。必要に応じて、上製本加工など、おこのみの処理が可能です。これが原本からのコピーですと、あらたに部数が必要なたびに再コピーが必要となったり、原本ではなくコピーからコピーせざるをえず、品質が劣化しますが、電子アーカイブはデータをプリントアウトするだけですから、そのような二度手間が一切ありません。残念ながら、著作権上の問題がある場合は複製本の配布ができないこともありますが、私的な範囲内なら保持が可能です。

## 文献の長期保存にも最適

紙の本はどうしても紙の劣化という問題から逃れることはできませんが、電子データは永久に同じ品質を保ちますから、百年単位の長期保存、千年単位の超長期保存にも役立ちます。電子データによる長期保存は、今もっとも注目を集めており、時代時代にあわせて、データを変換して保持するデータマイグレーションや長期にわたって、データの書き換えを繰り返す電子式年遷宮といった技法が提唱されています。

# 中西印刷株式会社

〒602-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146

電話075-441-3155 FAX075-417-2050

e-mail [infos@nacos.com](mailto:infos@nacos.com)